

書画などの作品の左側によくある署名と印影(捺印)の名称をご存じですか? そう、落款とか落款印って言いますよね。因みに作品の右肩にある印影は引首印というのですが、落款とは「落成款識」を省略した語なのです。「落成の款識」と書いたほうが分かりやすいでしょうか。「落成」は文字通り作品の完成であり「款識」はその完成の証としての作者による自筆の署名を意味しています。そして作者自身の作品であることを示す印影もまた落款という範疇に含まれるのですが、これを落款とは区別して落款印とも呼んでいきます。今月号ではその落款印を取り上げます。



▲①石井雙石刻「塚幹印信」

まず落款印とは具体的にいかなるものかといえ、姓名印(①)とか雅号印(②)が一般的と言ってよいでしょう。また、落款印は一顧でも二顧でもよく、二顧の場合は姓名印・雅号印の順に押すのが基本で、さらには白文印と朱文印を用いるのが慣例とされています。姓名印は白文を用いるのが一般的なようですから、雅号印は必然的に朱文が多いということになります。姓名印が何故白文なのかといえ、中国の秦漢以来の官私印が白文であったことに由来するのだそうです。



▲②飯田秀處刻「如流」

次に落款印のサイズですが、特に決まりはありません。二分角(6ミリメートル)から二寸五分角(7.5センチメートル)くらいまで、大きささまざまな規格があります。作品の大きさや文字の大きさ、さ



▲③刻者不明「令吉之印」「三郊」

らには余白の広さなど、書家等はその時々によって、最適な大きさの落款印を使い分けているのです。さて、書画などの芸術作品における落款印は、その巧拙によって作品の評価が左右されることとなります。すなわち芸術作品の一部を構成する重要なアイテムなのです。ですから、しばしば書家等は自身の落款印の制作を篆刻家に依頼することになります。

篆刻美術館は書家の多くの自用印(落款印ほか)を收藏しています。そのほとんどは篆刻家の手に成る刻印なのですが、なかには刻者篆刻家不明の刻印も含まれています(③)。篆刻家が書家等に落款印などを刻す場合、印材の側面に自刻である旨を刻す(側款)の

が一般的なのですが、篆刻家が故意に側款を刻さないことも間々あるようです。こうした側款のない刻印は刻者不明ということになるのですが、側款を刻さない理由の一つには、印材の再利用にあるようで、篆刻家の配慮なのだそう

です。すなわち、自分の刻印が気に入らなければ、印面を削って他の篆刻家が刻し直すことができるようにとの配慮です。また高価で貴重な印材には、なるべく傷を付けないという意味合いで側款を刻さないこともあるようです。したがって、当館収蔵の刻者の分からない刻印のなかにも、篆刻家が制作したであろう優品が含まれています。

篆刻美術館では、こうした落款印も含めた刻印を企画展で紹介いたします。当館では未展示の刻印群です。ご覧ください。

企画展「収藏品展V」
期間 9月23日(土)～11月12日(日)
古河街角美術館学芸員 臼井公宏

【児童/読み物】
リブリアの魔女
日野祐希 作
リブリア王国の魔法学院を卒業したメノア・ヘーゲン13歳。魔導師を目指すため、伝説の魔導師シェリル・デュランに弟子入りを頼みに行く。しかし、弟子になれるかは、試用期間を経た後の、試験結果で決めると言われ…。
出版社…アリス館



【絵本】
かまどろぼう
桂文我 文
「このごろ、とうふ屋のかまがぬすまれている」と聞いたとうふ屋の主人は、心配でかまの中で寝ることに。何も知らないどろぼうたちは、かまをぬすみだしますが…。笑えるどろぼうの落語絵本。
出版社…BL出版



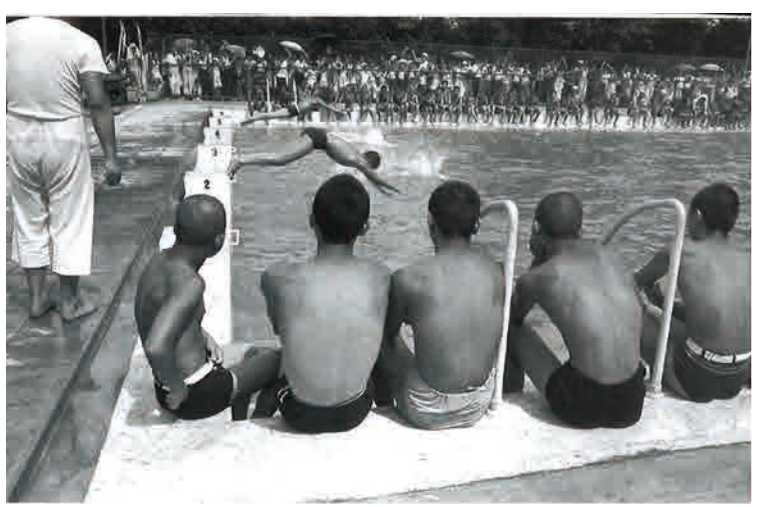
【一般/伝記】
牧野富太郎の人生
多くのの人に愛され支えられ、時に裏切られながらも失わなかった情熱と笑顔…。数多くの新種の植物を発見し「日本植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎の、波乱に満ちた94年の人生を紹介する。直筆のスケッチ資料も多数収録。
出版社…メディアソフト



【一般/小説】
猛き朝日
天野純希 著
類いまれな軍才と男女貴賤隔てない登用で、頼朝や義経より早く時代を切り拓いた「朝日将軍」木曾義仲。日本史上最も熱き敗者の鮮烈なる31年を描く。『読売新聞オンライン』掲載を加筆修正。
出版社…中央公論新社



ファインダー越しの昭和時代



戦後初めて、学校にプールがオープンしました。当時は川で泳ぐことが当たり前で、事故もたびたび聞かれましたが、プールができたことで保護者も安心したことでしょう。



古河市在住写真家 鈴木路雄さん